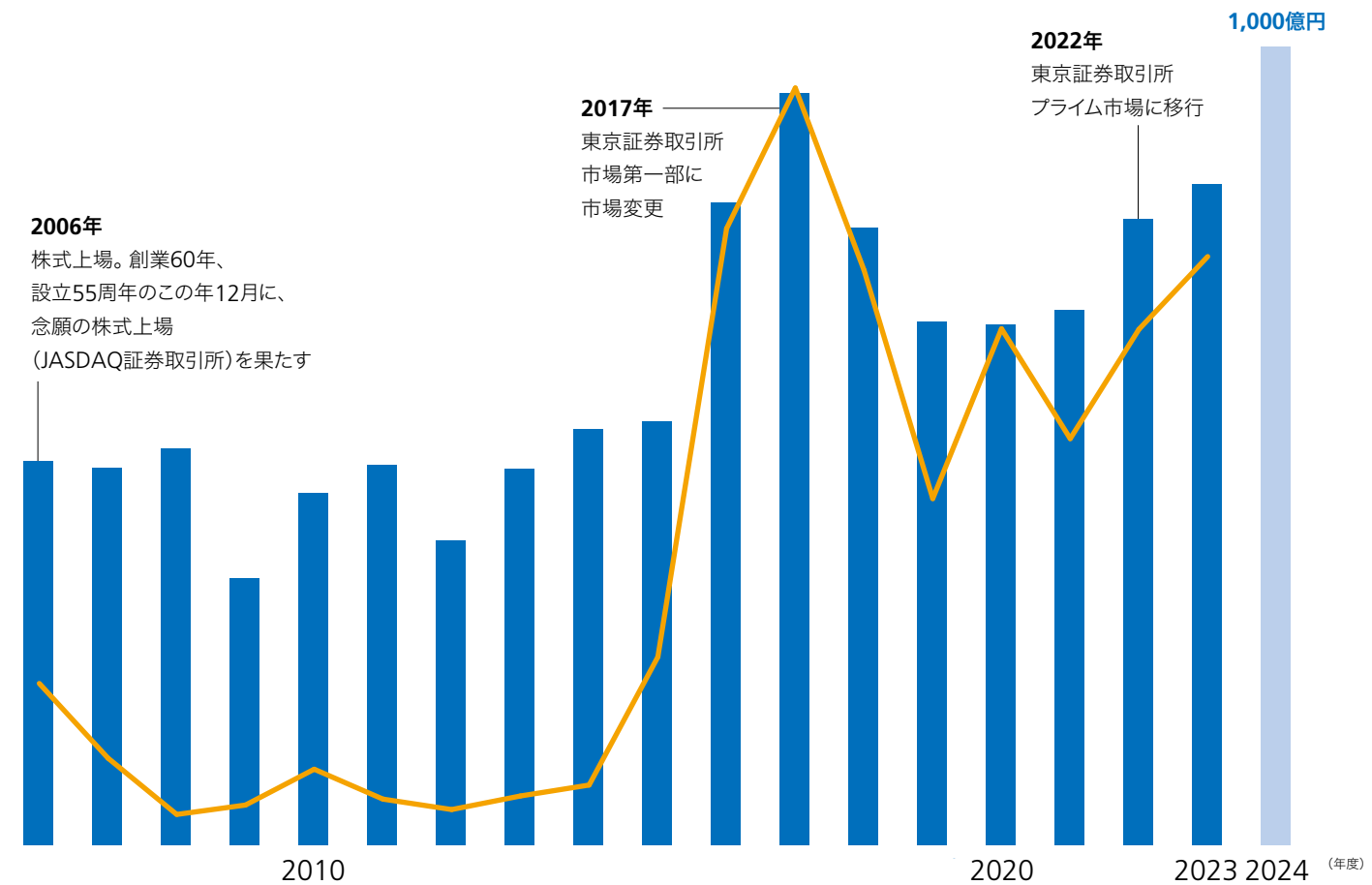
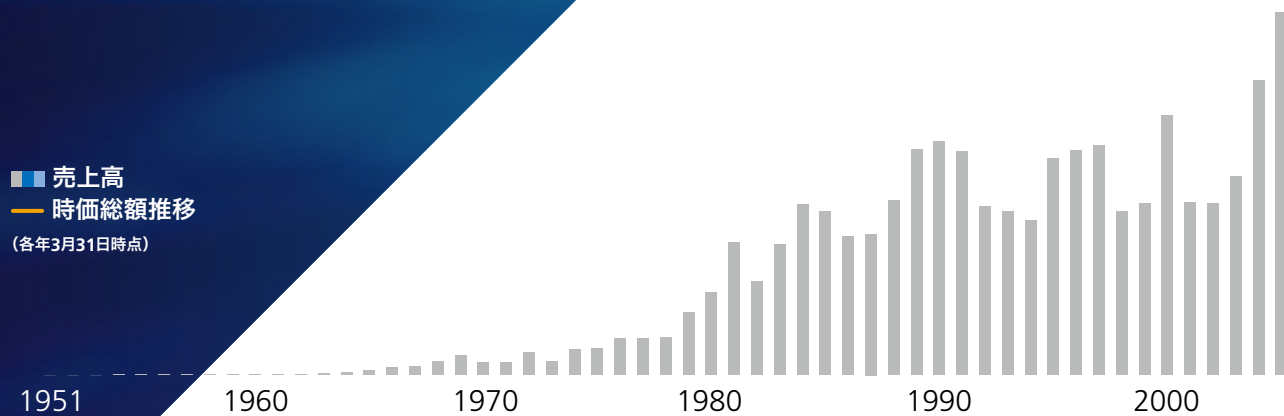


価値創造の軌跡

世界中で日々進化し続けるものづくり。
さまざまな産業分野の
ものづくりを支える、
それがHirataのしごとです。

■ 売上高
— 時価総額推移
(各年3月31日時点)



産業用車両の製造・販売

活人倍力*1の考え方の下、生産設備の受注を拡大

ロボット開発やコンベヤを
主体とした生産設備の
自動化を進める

制御技術とソフトウェア技術を導入し、
より高度な自動化を実現。組立設備だけでなく
プロセス装置を製造・販売する

自動車・半導体・家電分野を主力事業とする
生産システムインテグレーター

時代の変化に対応し変化する
Hirataの生産システム

1951年

株式会社創立

産業用車両の製造および販売を目的として
熊本県熊本市に平田車輛工業株式会社を設
立。リヤカーなどの産業用車両およびベルト
コンベヤで受注を伸ばす。



「MEPチェーン」コンベヤ
製品を作業者の前で停止する作業者視点のフリー
フローシステムを採用

*1 設備の自動化によって人を減らす「省人省力」ではなく、
人はより付加価値の高い仕事につくことで、人を活かす
という考え方を表す当社の造語。

1974年

平田機工株式会社の誕生

家電業界などに向けた自動組立機などに
より事業が拡大する中、主にポータブルコ
ンベヤを手がけていた大平コンベヤ、家
電関係のコンベヤを担当していた平田車輛
工業、平田機工商事の関連3社が合併し、
平田機工株式会社が誕生。



ブラウン管設備



自動車関連事業拡大に向け、
北米のトレードショーへ出展

1980年

海外拠点の拡充

国内だけでなく、海外大手家電メーカーにも
組立設備を納入するようになり、さらなる販
路開拓のため、アメリカに初の海外拠点を設
立。これを皮切りに、欧州、東南アジア、中国
などの各エリアに関係会社を設置。



「ACS」コンセプトの自動車
エンジン組立設備

1990年

「ACS*3」コンセプトで
海外自動車メーカーから高評価

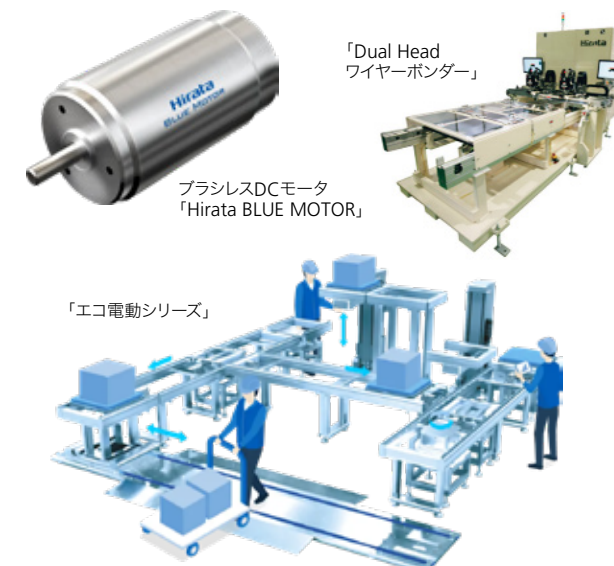
スタンダードの組み合わせによりさまざまな
要望に応える「ACS」コンセプトの誕生により、
90年代半ばから海外自動車メーカーの評価
が高まる。自動車の組立設備の進化を加速。

*3 Assembly Cell Systemの頭文字

2000年

時代のニーズに合わせ
事業を拡大

ブラウン管テレビ市場の縮小を予測し、FPD
(フラットパネルディスプレイ) 市場に参入。
半導体関連事業にも参入し、海外大手メー
カーなどと取引。生産システムインテグレー
ターとして、世界の舞台へ。



現在

持続可能な社会の実現に向け、
選択と集中

100年に一度と言われる自動車産業の変革
期や、持続可能な社会の実現に向けたニーズ
の変化に対し、確かな品質と技術で応える。
デジタル技術・DX活用により、利便性・環境
貢献度の高いスマートファクトリーを提案。
EV(電気自動車) 関連のキーデバイスなど、
今後需要増が見込まれる製品の開発を強化。



EDU(Electric Drive Unit) 組立設備